



学校便り

長崎市立日見中学校

第6号
令和7年7月10日
文責 校長 山本

【教育週間】

6月30日（月）から7月6日（日）まで長崎っ子の心を見つめる教育週間として、様々な取組を行いました。

<6月30日（月）>

○ 校長講話

「君はどう生きるか」をテーマに、過去に長崎で起きた悲しい事件や事故のこと、今の長崎県や日本が抱える社会問題（人口減少を中心）、戦後80年の節目の年にもかかわらず戦争が続いていること、被爆者は高齢化し全国で10万人を割れる状況にあることなどを取り上げながら、これから先、どのように生きるかを生徒一人一人に考えてもらう時間にしました。

君はどう生きるか

20年後、30年後の長崎県姿を見据えて



- ・長崎の今現在、少子高齢化や過疎化、長崎から県外へ上京する人が増え長崎の人口が減っているなどたくさん問題がある中、日見地区では日見まつりや100人パトロール、未来会議など、子どもたちと地域の方とで一団となって取り組んでいる行事が増えており、こんな素敵な活動を今後も続けていくために、一人一人が人と人の縁を大切にしていくことが大切だと改めて思いました。（柚月さん）
- ・私は他人と比べてしまい落ち込んでしまうことがあるので、他人の目を気にせず自分は自分という心を持ちたいです。「中3が殺害した」というニュースにとってもびっくりした。同い年の人が知らない人を殺害してしまったのはとてもショックであり得ないことだと思いました。いじめを少なくするため、私は、お互い相手を思いやり、相手の気持ちになって考えることが大切だと思いました。（朝陽さん）

○ 被爆体験講話

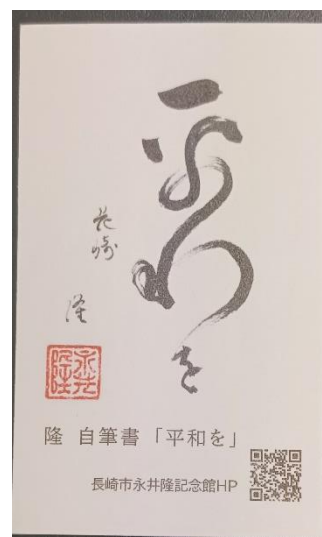
「永井隆記念館」館長を務める永井徳三郎様にお越しいただきました。祖父である永井隆博士が、被爆し余命3年の宣告を受けながらも、命が尽きるまで医者として患者に寄り添ったり、平和についての考えを執筆したりするなどの生き方について、講話をしていただきました。

「身近な平和」が築けなければ「世界の平和」は築けない戦争が起きないようにするにはどうすればいいのか？

⇒「如己愛心」・隣人を思いやる気持ち

・互いに支え合う心

・正しいと信じて行動する勇氣



<7月1日（火）>

○ 100人パトロール

中学校からは14名の教職員が参加し、小学校の先生方や保護者、地域の方々と一緒に日見地区の子どもの健全育成をPRして回りました。

「危険な遊びを見つけたら 地域の大人で注意しましょう」
「夕方子どもを見かけたら、家に帰るように声をかけましょう」
「登下校の子どもを見かけたら、大人からあいさつしましょう」

（裏面に続く）

<7月2日(水)>

○ 道徳公開授業(生命尊重に関する)

- 1年「夕暮れ時の避難」・・・大水害が起こったときに家から避難するかどうか
- 2年「猿渡瞳さん」・・・小児がん患者の思いに共感しながら精一杯生きることの大切さについて
- 3年「ドナーカード」・・・脳死状態になった場合、自分と家族の臓器を提供するかどうか

○ 家庭教育学級講話

NPO 法人 schoot 内海博文さんによる「中学生時代の親子の関わり方～SNSを通して」

- ・ SNS 上の書込の事例を提示し、これは OK? OUT? と問う中で、気付かぬうちに犯罪行為を行っていることがあることがわかった。思うのは勝手であるが、書き込んだ時点でトラブルになる。
- ・ スマートフォンを使用している時間を問うと、平日最長6時間以上触っている生徒もいた。
- ・ アプリは、使用者の個人情報を買収して成り立っているため、使用者が依存するよう設計されている。大人でも自分でコントロールすることが難しい。
- ・ 使用するアプリ1つにつき15点テストの点数が下がる。
- ・ 子どもの SNS 等使用については、家族でコミュニケーションを取りながらルールを決め、守れない時には子どもに寄り添いながらルールを見直していくなど伴走していくことが望ましい。

○ SNS 上の書込の事例の中でこれくらい大丈夫と思ったら犯罪だったと分かり驚いた。使い方を親子で一緒に考えていきたい。(お礼の挨拶 江副みちるさん)



<7月4日(金)>

○ GIGA ノートながさきを活用した SNS に関する道徳

- 1年「SNS を使う上での自分と相手の感じ方の違い」
- 2、3年「災害時の SNS の使い方について(真偽がつかない情報に左右されないために)」



<7月6日(日)>

○ 日見地区ペーロン大会

今年は早くに梅雨明けし炎天下での大会となりましたが、穏やかな波と心地よい西風は絶好のペーロン日和となりました。約1週間前にペーロン協会の方の指導を受け、網場漁港で練習しただけですが、どの艇もドラムと太鼓に合わせて全員で呼吸を合わせて漕ぐことができました。応援して下さった保護者・地域の皆様、ありがとうございました。また当日は、育友会から大型バケツに氷を準備していただいたり、育成協から飲み物の差し入れをいただいたりするなど、たくさんの方にお世話になりました。

